

2023 年 12 月 4 日

<<報道発表資料>>

ビーシーピージージャパン株式会社

— 以下は BCPG タイ本社発表の報道発表資料の抄訳となります —

BCPG、100 億パーツ以上相当の日本の太陽光発電ポートフォリオを売却。 **2024 年第 1 四半期中取引完了の予定。**

BCPG Public Company Limited (BCPG) の社長兼最高経営責任者 (CEO) である Niwat Adirek は、タイ証券取引所への開示を通じて、総設置容量 117MW の 9 件の太陽光発電プロジェクト、および資産管理会社と運営保守会社で構成される BCPG の日本における太陽光発電ポートフォリオの売却を発表いたしました。今回の取引によって得られる収益は、急速な拡大を促進するために BCPG の他の再生可能プロジェクトに再投資されます。

2023 年 12 月 1 日、BCPG は北欧のプライベートエクイティの支援を受けたデンマークの大手太陽光発電企業 Obton 社との間で、BCPG のすべての日本子会社と日本の太陽光発電所を売却するため、429 億 7,000 万円 (資本金 103 億 7,700 万パーツ相当。うち株式価値 69 億 3,500 万パーツ、純負債 34 億 4,200 万パーツ) の株式購入契約を締結しました。この取引は遅くとも 2024 年の第 1 四半期以内に完了する予定です。

今回の取引は、世界クラスの高品質の再生可能エネルギー発電所を開発・運営し、適切なタイミングで売却することにより資産価値を最大限に引き出し、資本を再循環するという BCPG の長期戦略に沿ったものです。

BCPG は 2017 年の IPO に先立って、2016 年に日本に最初の投資を開始し、その時点の運転容量は 13MW でした。当社はそこからさらに開発を進め、ポートフォリオに 132 MW を追加建設しました。2018 年、当社はプライベートインフラファンドの設立により 27MW の最初の資産売却を完了しました。BCPG は現在、日本で 117MW の太陽光発電所を運営しており、そのうち 104MW が運転中、13MW が開発中です。今回の取引は BCPG のポートフォリオが戦略的な場所にある優れた品質の資産であることと、投資家に安定したキャッシュフローを生み出す優れた運用実績で構成されており、国の温室効果ガス排出量の削減にも貢献しているため、世界中の幅広い投資家から関心を集めています。

タイ証券取引所 への開示資料に記載されている BCPG の日本におけるポートフォリオの売却取引の株式価値は、簿価と比較すると 23 億パーツ以上の黒字となり、当社とその株主にとって大きな価値が生まれることとなります。売却による収益は他の再生可能資産への再投資に使用され、BCPG の成長をサポートします。

「当社の日本における太陽光発電プロジェクトは世界中の投資家から注目を集めており、当社のプロジェクトと運営プラットフォームが業績、収益源、そして人材の獲得と育成を含む環境面において世界クラスの基準を満たしていることを保証しています」と Niwat は述べています。

BCPG Public Company Limited について

BCPG Public Company Limited (BCPG) は、タイ、日本、台湾、ラオス、ベトナム、フィリピン、米国で太陽光発電、水力発電、風力発電、天然ガス事業を展開するアジア太平洋地域の再生可能エネルギーの大手企業の一つです。同社の総生産能力は 2,038MW に達します。

BCPG は、グリーン発電所への投資と運営に注力する一方、より多くの種類の再生可能エネルギーに多様化し、より持続可能なエネルギー利用のための革新的な製品とサービスを追求することで、消費者のニーズを満たすビジネスの強化に努めています。

詳細情報: www.bcpgroup.com

報道機関お問い合わせ先

BCPG Public Company Limited

Natcharee Buranapatpakorn

Director – Content Creation and Media Relations

Corporate Communications

Tel. (66) 81-875-3222

E-mail: natcharee@bcpgroup.com

(日本)

ビーシーピージージャパン株式会社 広報事務局(有限会社アンビローク内)

Tel: 080-4320-6029

bcpj@ambilogue.com